



### 年末年始の 緊急体制の甘さあり？

令和の年を迎え、皆さんは年末年始を家族と共に楽しい時間を過ごすことができましたでしょうか？

『ケアホーム希望』を利用している 90歳の女性 Aさんは、寝たきりになり、胃ろう造設してはや 10年になる。年末に高熱を出し、病院に連絡しても「薬を処方しますので 様子を診てください」と言われ、その日の夜 更に熱が 39℃まで上がり、胃ろうからは 茶色い排液もあったため、救急搬送となった。検査の結果、大腸に狭窄があり、医師からは緊急手術をしないのなら 余命は 2週間と言われ、家族は在宅での看取りを希望し、すぐに退院する。

その後、往診医へ 連絡を入れ、抗生剤等の補液を 自宅で開始し、訪問看護師が頻回に自宅へ訪問し、ケアを行った。息子も 2週間 会社を休む予定で、夜通し 母親の介護を行った。数日後、お腹の張りはあるも 吐いたりすることなく、毎日 排便も 少量あった。

年が明け、世間が 仕事始めの頃には 熱もなく、症状も落ち着いていた。

再度、専門家に CTをチェックしてもらった結果、以前と 変わらない状態であった。驚いたのは、年末に退院した「退院計画書」が年明けに届いたのだが、病名・症状の欄に余命宣告までされて退院してきたのに、「脱水」と書かれてあった。

年末年始の時期に いつも思うことだが、どこの病院も 若いアルバイトの医師が 診察に当たる ケースがある。また、24時間 365日の訪問診療と言っても動きの良い 医師は少ない。

この時期は特に、家族が主治医に連絡すると、「まず訪問看護師に診てもらってから電話をするように言われた」と、家族から訪問看護ステーションの看護師に連絡が入る。

チームを組んで訪問診療を行っているが、アルバイトの医師だったりすると、「いつもはどうしているのか」と、看護師に聞いてくることさえある。

年末年始は、病院やクリニックは長期の休みに入るが、救急の外来には患者さんが多く、長い時間待たされる。

救急車が到着しても受け入れてくれる病院 探して時間がかかる。国が 安心して 在宅療養生活が 過ごせるようにと 制度を作っても現場ではそのシステムが まだまだ できていないのが現状だ。



本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます！

『ケアホーム希望』の 職員は、年末年始も 利用者さんとその家族が安心して 新年を迎えられるようシフトを組み、無事に新しい 年を迎えることができました。これも ご家族皆さまのご理解、ご協力のおかげであると 感謝しております。



職員一同

# 令和2年 迎春



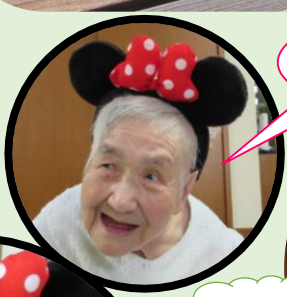
今年も 色々な  
ところに連れて  
行ってもらえます  
ように...

みんなと  
楽しい一年を  
過ごしたい!



## みんなの今年の抱負は？

美味しい  
ものが  
食べたい



今年は  
何年 だっけ？

チュ〜

ねずみ...

今年も  
みんなと  
仲良く

今年も  
良い年で  
あります  
ように

東京  
オリンピックが  
楽しみ!

だから...  
みんなねずみの  
耳付けてるのよ



妻と  
いっまでも  
一緒に  
いたい  
(笑)

初詣

大吉



今年も 元気に  
初詣に来て  
良かったわね...

